

令和5年度カジノ管理委員会政策評価懇談会議事録

1. 日時 令和5年6月14日（水）13：50～14：25
2. 場所 カジノ管理委員会12階大会議室（web会議システムを併用）
3. 出席者
【政策評価委員】（五十音順）
大森 明 横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院教授
工藤 裕子 中央大学 法学部教授
中村 豪 東京経済大学 経済学部教授

【事務局】

坂口次長、清水総務企画部長、箭野総務課長、堀企画課長、堀内監督総括課長、小林総務課企画官、稲垣企画課課長補佐

4. 議題
令和4年度政策評価書（案）及び令和5年度事前分析表（案）について
5. 配布資料
資料1 令和4年度政策評価書（案）
資料2 令和5年度事前分析表（案）
参考資料 カジノ管理委員会政策評価基本計画
令和4年度カジノ管理委員会政策評価実施計画
令和4年度事前分析表
令和5年度カジノ管理委員会政策評価実施計画

6. 議事録

（座長については、会議当日に前もって選定済）

○稲垣企画課課長補佐

それでは政策評価懇談会を開催します。これより、工藤座長に司会をお願いしたいと思います。工藤座長、よろしくお願いいたします。

○工藤座長

どうぞよろしくお願いいたします。令和4年度及び令和5年度の政策評価対象事業については、事前に事務局から送付された資料のとおりです。まず、令和4年度政策評価書案及び令和5年度事前分析表案について、企画課長より要点の説明をお願いします。

[企画課長から資料1「令和4年度政策評価書(案)」及び資料2「令和5年度事前分析表(案)」を説明]

○工藤座長

令和4年度の政策評価書案からまずご意見を頂きたいと思います。

○大森委員

基本的に令和4年度で設定している目標を達成したと書かれているので、これで良いと思いますが、過去の取組との関係において、令和4年度の取組がどのような役割を果たしたのかということと、今後の取組との関係性が示されると良いのではないかと思います。

○中村委員

私もおおむねこれで良いと思いますが、当初予算に対する執行額の少なさをどのように評価するのが少し気になりました。得たはずの情報が得られなかったり、協力関係を構築したかったところとうまく関係構築ができなかったり、ということがなかったか、ご説明いただければと思います。

○工藤座長

執行額については、昨年度においても、同様に低調だったという議論があったと記憶しており、コロナの影響で現地派遣が困難となったことや、開催形式がオンラインになったことによるものと考えられますが、ご説明いただければと思います。

○堀企画課長

過年度の取組と現在・未来との関係性についてのご指摘に対してご説明します。カジノ管理委員会の各施策は、令和4年度までは制度の整備を中心に進めてまいりましたが、令和4年度に実施した、審査基準のガイドラインの策定・公表をもって、おおむねそのフェーズは一段落しています。今後の話としては、監督業務・免許審査を行うに当たって、どのような体制を整えるかを検討していくという、体制の整備のフェーズに移っていきますので、海外の規制当局との関係強化や情報収集、人材育成などの取組が重要であると整理して、令和5年度の事前分析表を作成しています。

令和4年度予算に対する執行額が、令和3年度に引き続き低調となったことについては、工藤委員もご指摘のとおり、コロナの影響で、令和4年度はある程度海外出張にも行けるようになっていたとはいえ、実際に渡航するに当たっては制約が多かったという事情がございました。ただ、そのような事情はありつつも、必要な出張は実現しており、また出張に行けなかった場合でもオンライン等で意見交換ができていました。これらのことから、予算の執行額が少なかったからといって、必要な情報の入手や協力関係の構築において不都合があったとは我々としては考えていません。

○工藤座長

ありがとうございました。令和5年度の事前分析表に関して何かご意見があればここで頂戴したいと思います。

○中村委員

事前分析表①の施策、監督体制の整備に関しては、測定指標として「監督体制の整備に必要

な調査」と「監督等に向けた人材育成」が掲げられています。あくまでも1つの案としてお聞きいただければと思いますが、監督体制の整備といえどもいくつかの段階があると考えられますので、この測定指標の数のバランスも考慮しつつ、もう少し細かい段階ごとに測定指標を分けて設定すれば、今年度はここまでできた、ここが手付かずだったので来年度は重点的に行う、という単年度の施策の分析を翌年度の取組に生かせるのではないかと思います。

もう1点は、少し細かい点ですが、事前分析表③の測定指標1の二国間関係の強化に関する参考指標として出張の件数を挙げている点について、目標の中で出張だけでなく、招へいについても触れているにもかかわらず、参考指標で招へいの実績が記載されていないことが気になりました。実施の有無については承知していませんが、仮に実施したのであれば、出張と併記した方が、双方向の取組としての実態がより適切に示せるのではないかと思います。

○大森委員

事前分析表①の施策に関しては、カジノの監督という初めての事業に対して、どのような能力を有する人材が必要で、当該人材をどのように育成するのが非常に重要なので、参考指標に挙げられているようなセミナーへの参加が、人材育成に係る一連の取組のどの部分にどのように寄与したのか、また、人材育成のグランドデザインの中で今後どのような形で位置付けられていくのか、お示しいただいた方が良いと思いました。

また、事前分析表②のシステム構築に係る達成手段として示された予算額に、2か年分同額が計上されている点について、システムの設計をしっかりと作るという趣旨と推察されますが、このようなシステムの設計に関する資料は1年あれば十分作成でき、2年目に見直しをしていくイメージがありますので、1年目の事業に係る金額の方が大きくなるようにも思われ、本当に2か年を通じて同額の予算が必要なのか、少々疑問に感じられました。

それから三点目ですが、事前分析表③の測定指標1の二国間会合を通じた協力関係の構築・強化という内容について、人材派遣ということは考えていないのでしょうか。例えば、1年程度の長期にわたり、カジノ管理委員会職員を海外規制当局に派遣し、監督実務に携わらせ、知見を持ち帰らせることも考えてもいいのではないのでしょうか。

○工藤座長

人材の長期派遣は大変重要なことだと思いますが、それに関係して一つコメントさせていただきます。

事前分析表③の測定指標1について、二国間で今後重要になるのは、情報交換に加えて、その情報を共有した結果、例えばルール作り等の対策の立て方のような長期的な課題に結びついていくことが多くなると考えられますので、単なる意見交換よりも、もう少し踏み込んだ関係の構築が必要になると思っております。もちろん、1年や2年でできることではないのですが、コメント等があればよろしく願います。

○堀内監督総括課長

事前分析表③の海外規制当局等との協力関係の構築ですが、職員の長期派遣も今後検討してはいかかというご意見がございました。職員の長期派遣について、事務局においてもできれば行いたいと考えているところ、令和5年度については、先方との関係で実現は難しいこともあり、事前分析表では言及しませんでした。将来的には実現したいと考えています。

また、招へい事業の件は、実は令和4年度に具体化していた話はあったのですが、最後の局

面で先方が来られなくなり中止となったもので、残念ながら実績はゼロとなりました。ただ、令和5年度については、予算は確保しておりますので、実現させたいと考えているところで

す。

同じく事前分析表③について、測定指標を分けて記載しているが、ご指摘いただきましたように、一つ目の二国間関係の強化の指標と二つ目の多国間会合の指標は、若干性格が異なるとカジノ管理委員会として考えています。一つ目の二国間関係の強化については、ご指摘いただいたとおり、二国間の協力関係を強固なものにしていくことにより、近々開始されるであろう免許審査において、また中長期的には具体的な監督が始まった段階においても、個別具体の情報やカジノ業界にまつわる情報を収集する基盤として、日本における監督業務にも具体的に生かすことを期待して、多国間との話とは分けて測定指標を設定しています。

○堀企画課長

事前分析表②の業務管理のためのシステム構築等に関して、達成手段として記載されている予算額が1年目と2年目で同額になっている理由としては、当該調査の1年目はおよそ半年程度で行っており、2年目については（※令和6年度からシステム構築するという前提に立ちま

○工藤座長

ありがとうございました。

これまでの話をまとめると、令和5年度の事前分析表としては今後具体的にどんな指標を立てるのか検討の必要性があると思います。事前分析表③の測定指標1に関しては、例えば招へい事業の実施という目標の一つに関して、当初は令和4年度にも計画があったが実現できなかった点も、参考指標としてお示しいただいた方が分かりやすかったと思いますので、今後のこととしてご検討ください。

また、事前分析表③の測定指標2ですが、令和5年度には具体的にどのような国際会議があり、それぞれ開催場所がどこなのか、この段階になると判明してくると思いますので、それを踏まえて今後作成していただければと存じます。

ご意見も尽きたと思われますので、最後に事務局からのお知らせをお願いします。

○稲垣企画課課長補佐

ありがとうございました。本日頂いたご意見・ご指摘を踏まえまして、評価書及び事前分析表につきましては、必要な修正を施した上で、カジノ管理委員会にて議決後、ホームページで公表したいと考えています。また本日の議事録については、後日事務局より確認をお願いした上で、委員会のウェブページで公表する予定になっています。それでは政策評価懇談会を終了

以上